

Made in Ishikawa :

The Crafts as Tableware from

Past to Present

# 工 彩 良 芸 る を



2024 11.9(土) - 12.8(日) 会期中無休  
9時30分～18時 (入館は17時30分まで)

[観覧料] 一般 1,000円(800円) 大学生 800円(600円)

\*高校生以下無料 \* ( )内は65歳以上の方および20名以上の団体料金 \*2階コレクション展観覧料を含む  
\*身体障がい者・精神障がい者保健福祉・療育手帳をお持ちの方、またはマイロIDをご提示の方および付き添いの方1名は観覧無料

[主催] 石川県立美術館 [共催] 北國新聞社

[後援] NHK 金沢放送局、MRO 北陸放送、テレビ金沢、HAB 北陸朝日放送、石川テレビ放送

(四條流料理傳書)(部分) 個人蔵

石川県立美術館  
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART



文化庁

令和6年度地域ゆかりの文化資産を  
活用した展覧会支援事業



JAPAN  
CULTURAL  
EXPO 2024

# 食を彩る工芸

Made in Ishikawa : The Crafts as Tableware from Past to Present

錦秋のいしかわ、美食の金沢。

海、山の豊饒な自然が生み出す数多の食材を、料理人が繊細、優美な料理に仕立て、名工の手による素晴らしい器に盛られ、供される。当地では、舌で味わい、目で楽しむ、上質な食文化が発達しました。また、座敷や庭といった設えや、心こもったもてなしが、食文化をさらに味わい深いものになりました。

本展は、その中でも、金沢・石川の食文化を彩りあるものにしていく工芸品に着目し、それがさまざまな食のシーンでどのように用いられてきたかをご紹介します。

第1部では、ハレの日に用いられた食器や四季を楽しむ器、お茶席や茶屋での設えに用いられる道具など、積年の伝統が作り上げてきた工芸品をさまざまなテーマで展示します。

当地では、美術館のみならず、伝統ある料亭や料理旅館にも素晴らしい工芸品が数多く所蔵され、また、実際に使われてきました。本展では、これまでにない試みとして、そうした食のおもてなしの名だたる名店の優品を中心に展示し、この地における文化の広がりや厚みをご紹介します。

第2部では、工芸王国いしかわの次代を担う気鋭の工芸作家が、この展覧会のため1年の歳月をかけた制作した、食を彩る新作の共演をお楽しみいただけます。

総合芸術ともいべき「食文化」、それに欠くことのできない器などの工芸作品の奥深い魅力をご堪能いただければ幸いです。

## 第2部 出品作家 本展のため新たに制作した力作を展示します！

- 陶磁** 多田幸史、中田博士、見附正康、宮本雅夫
- 漆芸** 田中義光、水口咲
- 金工** 坂井直樹
- 木工** 中嶋武仁 \*分野ごと五十音順



## 関連行事

**加賀屋女将×青柳館長 スペシャル対談** \*聴講無料、申込不要  
加賀屋女将・長谷川明子氏をお迎えし、食と器に関する対談を行います。  
日時：11月9日(土) 13時30分～15時  
会場：石川県立美術館 ホール  
出演：長谷川明子氏(加賀屋女将) 青柳正規(石川県立美術館長)

**出品作家によるギャラリートーク** \*要観覧券、申込不要  
本展第2部の出品作家が、作品を前にして器の魅力を語ります。  
出演：11月10日(日) | 中田博士、見附正康氏、中嶋武仁氏  
11月17日(日) | 多田幸史氏、宮本雅夫氏、坂井直樹氏  
11月24日(日) | 田中義光氏、水口咲氏  
時間：各14時～15時  
会場：石川県立美術館 企画展示室

**土曜講座** 会場：石川県立美術館 講義室 \*聴講無料、申込不要  
①「金沢の近代数寄者と 名品の流れ」 日時：11月16日(土) 13時30分～15時 担当：寺川和子(石川県立美術館 学芸第二課長)  
②「石川の食文化と工芸」 日時：11月30日(土) 13時30分～15時 担当：奈良竜一(石川県立美術館 学芸主任)

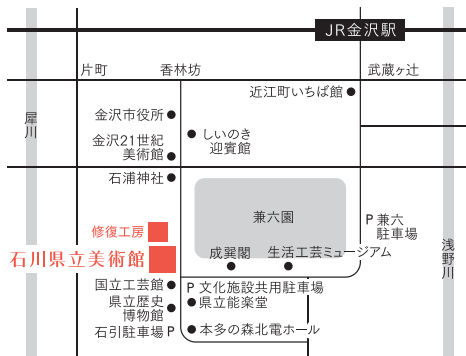
**テーブルコーディネートをしよう**  
画面上で、本展出品作品を使ってオリジナルのテーブルコーディネートをしよう！優秀コーディネーターには豪華景品をプレゼントいたします。

**コラボスイーツが館内カフェに登場**  
会期中、館内カフェ「ミュージック アッシュ KANAZAWA」にて、展覧会をイメージしたコラボスイーツを提供いたします。

**トークイベント「食を彩る工芸、その魅力」**  
美しい器は、わたしたちの食事をより豊かなものにしてくれます。料理のプロから、器の魅力や器に求めるものについて、使う側の視点で語っていただきます。  
日時：11月23日(土・祝) 13時30分～15時 \*聴講無料、要申込(先着順)  
会場：石川県立図書館 だんだん広場  
講師・申込方法：決まり次第石川県立図書館公式ウェブサイトにてお知らせ



1 | 《正月の祝飾り》つば甚蔵\* 2 | 北大路魯山人《一閑塗日月椀》昭和18年(1943) 京都国立近代美術館蔵 3 | 角俣三郎《へぎ板》平成時代 加賀屋蔵\* 4 | 松田権六《水文蒔絵漆椀》昭和49年(1974) 石川県立美術館蔵 5 | 《合鹿椀》江戸時代(19世紀) 能登町教育委員会蔵\* 6 | 《蒔絵菓子重》明治時代 個人蔵\* 7 | 二代浅蔵五十吉《青手土瓶蒸し器》昭和時代 加賀屋蔵\* 8 | 《龍田川蒔絵提重》江戸時代(17世紀頃) 個人蔵\* 9 | 石川県指定文化財《観桜観楓図》(部分) 江戸時代(17世紀) 石川県立美術館蔵 \*撮影：濱崎敏彦



## 交通のご案内

**[バス]**  
JR金沢駅バスターミナル兼六園口(東口)から、路線バスで「出羽町」または「広坂・21世紀美術館」下車、徒歩5～7分。

**[タクシー]**  
JR金沢駅から4km、平常時で10～15分。

**[自家用車]**  
北陸自動車道「金沢西」もしくは「金沢森本」インターから20～30分。来館者専用の駐車場(無料)あり。

## 石川県立美術館

ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒920-0963 石川県金沢市出羽町2-1 TEL:076-231-7580  
https://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/



同時開催 / 2階コレクション展 ●加賀藩の美術工芸 ●石川県の寺宝 ●彫刻家たちの研鑽 ●優品選